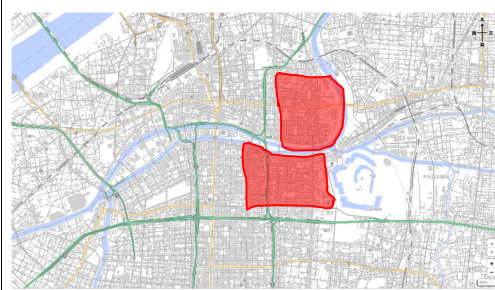


日本史探究：大塩の乱が起こった社会的な背景とは何だろう？（解答付）

（ ）年（ ）組（ ）番 名前（ ）

問1. 「火之用心・大阪今昔三度の大火」(東京大学大学院情報学環附属社会情報研究資料センター/ 情報学環・学際情報学府図書館蔵)の画像をみて、大塩の乱(1837(天保8)年)による火事のおおよその範囲を現在の地図に書き込みましょう。国土地理院のウェブサイトにアクセスして考えてみてもらってもかまいません。方角に注意しましょう。



出典：地理院地図 Vector
(<https://maps.gsi.go.jp/viewector/#13.769/34.691287/135.500853/&ls=vpale&disp=1&d=1>)





『火之用心・大阪今昔三度の大火』
(東京大学学術資産等アーカイブズポータル)のリンク

問2. 大塩平八郎は、どのような主張をもって乱を起こしたのでしょうか。解説シートや教科書等を参考に答えましょう。

天保の飢饉で飢えに苦しむ人々の救済を求めた。

問3. 問1や問2を踏まえて、あなたは大塩の乱に対してどのような印象を持ちましたか。

☆今回は、大坂で起きた大塩の乱の時代背景とその影響をみていきます。

今回のテーマ

大塩の乱などから江戸時代後期の幕府の支配体制のひずみについて考える。

問4. 江戸時代の大坂はどのような都市だったでしょうか？教科書等を参考に答えましょう。

「天下の台所」と呼ばれ、西日本を中心に全国の物資が集まる場所として栄えた商業都市。

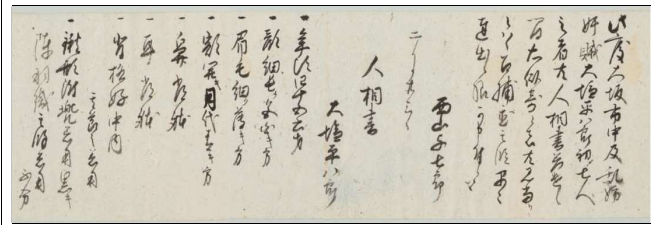
問5. 大塩の乱が発生した時期の都市や農村の社会は、どのような状況になっていたのでしょうか。教科書等を参考に答えましょう。

都市	農村
家持町人が減少し、地借や店借、奉公人が増加し、日稼ぎの貧しい民衆が増加していた。 米不足によって、困窮した人々が増加し、打ちこわしが多発した。	江戸時代初期の自給自足的な社会から変化し、地主として小作人を使役して商品作物を生産する豪農が生まれ、村内での格差が広がっていた。 米の凶作により、困窮した人々が増加し、一揆が多発した。

問6. 幕府は問5の状況に有効な対策を取ることができましたか。教科書等を参考に答えましょう。

幕府は、有効な対策を取ることができなかった。

資料1 大塩平八郎の乱首謀者人相書(和歌山県立文書館蔵 北一夫氏旧蔵北家文書 整理番号イ-401「大塩平八郎乱につき急御用村継書控」)



(和歌山県立文書館蔵 北一夫氏旧蔵
北家文書 整理番号イ-401「大塩平八郎乱につき急御用村継書控」)
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monijo/archive/kyouiku/ohshio/index.html>



問7. 資料1では、大塩平八郎をどのような人物と考えており、人々にどのような行動をとるべきと記していますか。

大坂市中で乱妨におよんだ憎むべき悪人。
似た者が見当たれば捕まえておき、そのことを速やかに報告する。

問8. 大塩の乱は、なぜ幕府に衝撃を与えたのでしょうか。

幕府にとって重要な直轄都市かつ商業都市として栄えた大坂で、幕府の元役人であった武士が主導して、公然と武力で反抗したため。

今回の問い：あなたは大塩平八郎の行動をどのように評価しますか。

根拠とその理由もあわせて答えましょう。

評価できるところ

評価できないところ

※片方のみしかない場合は、それでも構いません

今回の学習以外で、幕藩体制のひずみとなった背景や要因には何があるでしょうか。

欧米列強を中心とする外国船が日本近海にたびたび出没し、開国するように圧力を強めていた。